

第3回津山圏域クリーンセンター整備・運営検討委員会議事録要旨

日時 平成24年2月28日(火) 10時00分～
場所 久米保健センター2階集団指導室
出席者 委員長：大下 順正(津山市副市長)
副委員長：石坂 薫(学識経験者)
委員：重松 正起(住民代表：津山) 小山 茂樹(住民代表：津山)
柚木 弘之(住民代表：鏡野) 田口 五男(住民代表：鏡野)
重松 勝江(住民公募) 有元 充(鏡野町副町長)
下山 博史(勝央町副町長) 岸本 憲史(奈義町副町長)
岡部 初江(美咲町副町長) 常藤 勘治(津山市総合企画部長)
高山 文秀(津山市都市建設部長)
オブザーバー：木村 宗正(美作県民局環境課長)

事務局 資源循環施設組合：田口理事、村上局長、河島次長、甲田次長、平井参事、
永禮参事、杉山主幹、立石主幹、平井主幹、松原主幹、
安道主査、金田主査、間山主査、松岡主任
津山市環境事業所：高宮参与、清水次長、友末課長
鏡野町：本山課長 勝央町：福田総括参事 美咲町：赤堀課長
美作県民局環境課：矢部総括参事

1 開 会

委員長挨拶

2 報告事項

(1) 議事録・要旨の確認

〈事務局〉事前に議事録・議事録要旨を送付しているが、気づいた点があれば、指摘をいただきたい。

なお、議事録要旨については、今後、組合のホームページに掲載させていただく。

〈委員長〉質問、意見が無いということで承認いただいたものとする。

(2) リサイクルプラザに関する管理者会への提言について

〈事務局〉去る2月8日に行われた津山圏域資源循環施設組合の管理者会において、委員長より提言書の提出がなされ、その後、管理者会から事務局側に提言書の内容に留意して施設計画を進めるよう指示がなされている。今後事業者が決まり、ある程度目に見えるものが見えた時点で、皆様のご意見を伺いたい。

(3) クリーンセンター建設経過について

〈事務局〉平成23年11月15日から平成24年2月28日までの経過を報告。

〈質問〉住民にリサイクルプラザに関する管理者会への提言について示した時に、何か質問や提言があったのか。

〈事務局〉管理者会からは、具体的な指示は無かったが、事務局に詳細な計画を進めるよう指示があった。この提言内容に従い計画を進めていけば、より良い内容になっていくと思う。事務局案が作成できた段階で、皆様のご意見をいただきたい。

(4) 事業者選定の経過報告について

〈事務局〉平成24年1月31日からの経過と、今後のスケジュールを報告。

〈質問〉事業者募集の際、排ガス排出基準について、国の基準どおりなのか。それとも住民協定などで、より厳しい基準で募集しているのか。

〈事務局〉今回、事業者選定を総合評価で行うにあたり、技術点が60点、価格点が40点という割合にしている。これで、組合は技術的なことを求めているというメッセージになると思う。そして要求水準書で、最低限保証する内容を示しており、提案者は落札しようと思えば、それ以上のものを提案してくるというしくみにしている。

〈質問〉今回示したものは、例えばダイオキシンだったら0.1ng-TEQ/m³N ぐらいか。

〈事務局〉他都市の事例とほぼ揃えて、0.1ng-TEQ/m³Nとしている。これ以上の提案に期待したい。

(5) 地元領家町内会との基本協定書等の締結について

〈事務局〉覚書については、平成20年5月27日に、当時の津山ブロックごみ処理広域対策協議会と領家町内会との間で締結していたもので、津山ブロックごみ処理広域対策協議会が一部事務組合に移行する時に再度、締結することになっていた。平成23年11月15日の領家町内会のごみ処理センター対策委員会において合意に至り、17日に領家町内会に説明を行い、18日に組合管理者会の承認を経て調印を行ったところである。

今回は、基本協定書に基本的な事項を定め、詳細な事項を別に確認書として定めている。内容的に当初の覚書から修正を行った点は、市長の検証等で指摘があった項目である。1点目は、公募条件にある熱回収施設、リサイクル施設、最終処分場を明確に記載している。2点目は、覚書にあった最終処分場の焼却灰は埋め立てないという項目を、確認書で、ストーカー+セメント原料化処理方式と記載している。

〈質問〉より詳しい、例えば環境ビジョンであるとかそういうものはこれから詰めるということなのか。

〈事務局〉具体的なものは今後になる。これは今まで協議を積み重ねてきたものに対して、文書で残すということであり、前の覚書が、密約であるという非難を受けていたので、内容は現段階で判ることを標記し、きちっと地元の方にも議会のほうにも説明ができた形となっている。今、言われたのは事後のモニタリング等のことだと思うが、これは今後の協議ということになっている。

〈質問〉これは、確認書の公害防止協定といったところを盛り込んでいくということか。

〈事務局〉そういうことである。

〈質問〉この中で、住民からの要望で反映した項目はどのようなものがあるのか。

〈事務局〉住民からの特に強かった要望である、地元雇用を確認書に記載している。可能な限り地元雇用をしてくれという要望が特に説明会等であり、この委員会でもそういう意見があったと思う。事業者選定の要求水準書の中にも、優先的な地元雇用を明記している。

〈質問〉市道、水路、池等の整備は地元からの要望なのか、それとも、組合側からお願いするものなのか。

〈事務局〉組合側からお願いするものはない。困っておられることに対して整備をやっていくということである。施設内の調整池からの排水などは、義務的に組合が取り組むべき内容でもあるが、地元の要望と合致しており、今後、地元の方と年度ごとの協議をする段階になっている。

(6) 今後の予定について

〈事務局〉まず、環境アセス及び都市計画決定協議について、24年度、12月までを目途として縦覧を行い、一連の手続きを終える予定としている。

次に埋蔵文化財の調査については、現地調査を24年度の中ごろまでに終え、報告書のまとめなどの業務を行うこととしている。

次に敷地造成、施設工事については、24年12月までの環境アセスの縦覧を開始以降に、現地着手が可能となる。そのため、まず、敷地造成工事から着手して、造成工事期間中に熱回収施設やリサイクル施設の設計を行い、造成面が出来上がった時点で、施設工事に着手するという流れとなる。

最後に、還元施設については、その内容について今後検討を行い、進める予定としている。

〈質問〉領家も中北下も要望書を出しているが、この要望書についてはいつ頃から着工してもらえるのか。

〈事務局〉要望事項については、すでに対応済みのものもあるかと思う。津山市対応の事項については、津山市が24年から4年間、総合計画の後期計画というものがあり、粗方固まったので、整理をして、それぞれ地元と協議に入りたいと思っている。

〈意見〉(領家地区について)スケジュール表の中で、即対応できるものは対応し、対応できないものについては年次計画を示してあるので、そのつもりでいる。

〈意見〉領家は聞いているようだが中北下は一切聞いてないので、ぜひスケジュール表をお願いしたい。

〈委員長〉中北下町内会のこともということでよろしいか。

〈意見〉そういう話は津山市ですてもらわないと、この会でする話ではないと思う。

〈委員長〉それについては後で話をする。

〈意見〉鏡野町の周辺整備もあるが、こういう場でしてくれと言ったことはない。ちょっと立場が違うと思う。

(7) その他

〈事務局〉還元施設検討委員会について報告する。

現在、事業地内に還元施設用地は確保しているが、ここにどのようなものを作るかは決定していない。それで、地域の皆様より広く意見をいただき、具体的に構想を詰めていきたいと考えて

いる。そのため現在作業を進めており、来年24年度から、この還元施設検討委員会を立ち上げ、今後検討を進めていきたいと考えている。

〈委員長〉要望・意見があれば、お受けしておきたい。詳細については、新年度に入り報告させていただきたい。

〈質問〉この会とは別に立ち上げるということか。

〈委員長〉そういうことである。

〈質問〉還元施設というのは、プールや温泉等の施設を、どういうふうに作れば良いかというのを検討するものか。

〈委員長〉行政が主導するのではなく、地域の要望を聞き、地域が必要なものを反映していくための委員会と理解すれば良いと思う。

〈質問〉できるだけ地元の要望も吸い上げて、より地元に着したものを作ればということか。

〈委員長〉可能な限り行っていくものである。

〈事務局〉今、説明のあったとおりだが、還元施設と言っても、地元還元施設、1市4町に対しての還元施設と色々な捉えようがあると思い、まずは地元、それから周辺の方、そして組合を構成している1市4町の方が、良いようなものにしていきたい。最初は、他地区で見られる温泉等をイメージしていたと思うが、最近は、あまりハコものを作って金を使うなという貴重な意見もあるので、いろいろと議論いただきたいと思っている。

〈質問〉例えばハコものを作るお金の代わりに地元へ還元するようなこともあり得るのか。

〈事務局〉約3haの用地を設けており、その中でどういうものが良いか、具体的な検討をしていただくということになる。

〈質問〉何かの施設を作るのは前提ということか。

〈事務局〉今まで見てきた温泉といったイメージがあると思うが、ここの地区は、レインボーというプールもあり、類似施設は良くないのではという意見もある中で、皆さんに喜んでいただけるようなものにしていきたい。スペースは確保しているので、とりあえず具体的検討に向け出発したいと思っている。

〈質問〉還元施設検討委員会は、どういうメンバーを想定しているのか。

〈事務局〉地元の方、いわゆる周辺の方、1市4町全体の方、公募の方、それから学識の方というような形を想定しており、行政関係者は委員に入らないで、事務局の立場で良いのではないかと考えている。今後変わることもあるが、現在は、事務局はこの委員会構成の方が皆さんに納得していただけたらと思っている。

〈質問〉リサイクルプラザに関する提言について、4の(1)番のすでに活動されている方とはどういう意味か。

〈事務局〉NPOの方々などをイメージしている。ただ、その方をそのまま入れるということではなく、そういう方を参考にするという意味である。

〈質問〉環境問題等の市民活動をすでに活動されている方というようなことか。

〈事務局〉そういうイメージになると思われるが、限定せず、いろんなイメージを考えている。

3 協議事項

(1) 整備・運営検討委員会の視察研修について

〈事務局〉平成24年度視察研修（案）について説明。

時期は、平成24年6月から8月の間で1泊2日の日程を考えている。研修先は、今回の研修テーマにもなると思うが、現在建設中の施設を考えている。今までは、すでに稼働中の施設を見てきたが、当組合も今後、建設工事に入っていくので、研修内容として、工事実施にあたっての問題点とその対応、地元住民の方との関わり、周辺環境への配慮、そしてその他の注意すべき点について話を聞き、可能な範囲で工事状況の視察を行うといった内容の提案である。交通手段は借上げバスを予定しており、場所の方もバスで行ける範囲になると思う。以上の事務局（案）について、本日意見を伺い、その内容に基づき、今後研修先を選定したいと考えている。具体的な案ができれば次回の委員会でご案内する。

〈質 問〉視察先候補は、今どんな所が挙げられているか。

〈事務局〉一つは松山市の方で、今建設が進んでいる熱回収施設がある。当組合と同じようなDBO方式で建設をしている施設となっている。あともう一か所、いい施設があれば見ていきたい。あと、兵庫県の、にしはりま環境事務組合という所があり、建物とかも形が出来つつあり、現在、プラント機器の据え付けなども行われているような施設もある。こういった所があるので、いくつか組み合わせも考えていきたい。

〈委員長〉もし、他に良い所があれば事務局へ知らせてほしい。それでは、こういう状況の中で決めてよろしいか。

〈委員全員〉了承。

4 その他

〈事務局〉次回は24年度に入ってから開催になると思うが、詳細については、またお知らせする。また、当委員会委員の任期が1年となっているため、次回、任期の更新等も併せて行う予定である。

5 閉 会